

企 画 部

令和3年（2021年）2月18日調製

## 定例会提出予定案件資料

	ページ
1 令和2（2020）年度補正予算概要……………	1
2 令和3（2021）年度予算概要……………	2
3 令和3（2021）年度公益財団法人北海道学術振興財団 事業計画の報告について……………	3～5
4 令和3（2021）年度一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構 事業計画の報告について……………	6～10

# 1 令和2（2020）年度補正予算概要

一般会計

[歳入]

(単位：千円)

科 目	補 正 額	説 明	
(国)総務費補助金	4,439	地方創生推進交付金増	4,439
(道)総務費補助金	5,400	国際水産・海洋都市構想推進費補助金	5,400
不動産売払収入	30,000	土地売払収入（旧ロシア領事館用地売払）	30,000
指定寄付金	80	地域振興基金分	80
雑 入	73,213	函館圏公立大学広域連合負担金返還金 前年度精算分 第2期中期目標期間残余分	73,213 2,155 71,058

[歳出]

総 務 費

(単位：千円)

科 目	補 正 額	説 明	特定財源
一般管理費	2,492	新型コロナウイルス感染症 緊急対策費増 2,492 函館市公共交通事業者等 特別支援事業費減 △ 700 美原地区路線バス乗降場上屋 整備費補助金減 △ 1,216 公共施設利用者減による 指定管理者への収支補填金増 4,408 (地域交流まちづくりセンター, 青函連絡船記念館摩周丸)	
企 画 費	△ 6,236	国際化施策推進費減 △ 1,000 姉妹都市交流推進費減 △ 1,000 公共交通整備促進費減 △ 5,236 バス生活路線維持費補助金減 △ 5,236	
公立大学費	10,556	函館圏公立大学広域連合負担金増 10,556 運営費分増 10,556	

## 2 令和3（2021）年度予算概要

一般会計

[歳出]

総務費

(単位：千円)

事 項	予 算 額	説 明	特定財源
市政はこだて 発行費	65,842	印刷製本費, 配布委託料 ほか	(その他) 広告収入 3,089 その他の雑入 128
地域振興推進費	8,794	定住者誘致推進事業費 2,730 外国人材受入支援事業費 484 政府予算関連等要望経費 ほか 5,580	(国) 地方創生推進交 付金 192 (地方債) 過疎地域自立促 進特別事業債 2,000
国際水産・海洋 都市構想推進費	121,032	水産・海洋に関する ローカルイノベーション 創出支援事業費 5,390 国際水産・海洋総合研究センター 管理運営経費 87,036 一般財団法人函館国際水産・ 海洋都市推進機構補助金 18,713 臨海研究所管理運営経費 ほか 9,893	(国) 地方創生推進交 付金 2,695 (その他) 国際水産・海洋 総合研究センター使 用料 12,820 臨海研究所使用 料 3,304
市民協働推進費	45,270	地域交流まちづくりセンター 管理運営経費 ほか	
広域行政推進費	2,659	渡島総合開発期成会負担金 ほか	
国際化施策推進費	45,859	地域国際化促進費 11,000 ロシア極東連邦総合大学函館校 支援補助金 30,000 姉妹都市交流推進費 ほか 4,859	(国) 地方創生推進交 付金 2,730 外国人受入環境 整備交付金 2,769
ホストタウン 推進費	24,744	2020東京オリンピック・パラリンピック 合宿支援等函館市実行委員会負担金	(国) ホストタウン推 進費補助金 13,669
公共交通整備 促進費	35,787	バス生活路線維持費補助金 15,336 道南いさりび鉄道株式会社 経営安定化補助金 9,756 地域公共交通網形成促進費 ほか 10,695	(その他) 乗合バス事業施 設維持補修費負 担金 3,815
青函連絡船記念館 摩周丸運営経費	12,390	青函連絡船記念館摩周丸管理委託料 ほか	
函館圏公立大学 広域連合負担金	1,887,206	運営費分 1,365,002 公債費分 281,090 事務員費分 241,114	

3 令和3（2021）年度公益財団法人北海道学術振興財団事業計画の報告について

〔 自 令和3（2021）年4月 1日  
至 令和4（2022）年3月31日 〕

（1）事業計画

ア 情報科学を中心とする学術研究および学術交流の支援にかかわる事業  
（定款第4条第1号に掲げる事業）

（ア）学術研究支援事業

情報科学分野の先端的な研究を支援するため、道南圏の高等教育機関に対して、選考のうえ、1件あたり1,000千円を上限として、研究費の助成を行う。また、民間企業など外部機関と共同で行う研究についても、同額の助成を行う。

（イ）教員海外視察等支援事業

学術研究の交流を支援するため、道南圏の高等教育機関の教員の海外での学会参加および視察について、選考のうえ、1件あたり200千円を上限として、学会参加等経費の助成を行う。

（ウ）海外交流支援事業

学術研究の交流を支援するため、道南圏の高等教育機関の学部4年生（高等専門学校の専攻科の2年生を含む。）および大学院生の海外の高等教育機関への留学について、選考のうえ、1件あたり300千円を上限として、留学経費の助成を行う。

イ 学術研究成果の普及および科学技術の啓発にかかわる事業  
（定款第4条第2号に掲げる事業）

（ア）学術研究成果普及事業

財団の概要、事業実績等について、会報「北海道学術振興財団ニュース」を掲載したホームページを活用し、広く周知する。

（イ）科学技術啓発事業

サイエンス・サポート函館が行う「はこだて国際科学祭」などと連携し、科学技術の普及、振興にかかわる活動を行う。

## (2) 収支予算書

(単位:千円)

区分	科目		予算額	前年度予算額	増減	
	大科目	中科目				
事業 業 活 動 の 部	基本財産運用収入		4,365	4,485	△ 120	
		基本財産利息収入	4,365	4,485	△ 120	
	特定資産運用収入		449	927	△ 478	
		特定資産利息収入	449	927	△ 478	
	会費収入		50	50	0	
		賛助会員会費収入	50	50	0	
	雑収入		1	1	0	
		受取利息収入	1	1	0	
	事業活動収入計 (A)			4,865	5,463	△ 598
	事業費支出			9,854	9,754	100
		学術研究支援事業費支出		8,000	8,000	0
		教員海外視察等支援事業費支出		600	600	0
		海外交流支援事業費支出		600	600	0
		学術研究成果普及事業費支出		114	114	0
科学啓発事業開催事業費支出		420	420	0		
その他事業費支出		120	20	100		
管理費支出			948	948	0	
	管理費支出		948	948	0	
事業活動支出計 (B)			10,802	10,702	100	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)			△ 5,937	△ 5,239	△ 698	

(単位:千円)

区分	科目		予算額	前年度予算額	増減
	大科目	中科目			
投資活動の収入部	基本財産取崩収入		0	20,000	△ 20,000
		基本財産償還収入	0	20,000	△ 20,000
	特定資産取崩収入		34,653	10,763	23,890
		助成事業積立資産取崩収入	34,653	10,763	23,890
	投資活動収入 計 (D)		34,653	30,763	3,890
	基本財産取得支出		0	20,000	△ 20,000
		基本財産取得支出	0	20,000	△ 20,000
	特定資産取得支出		27,045	0	27,045
		助成事業積立資産取得支出	27,045	0	27,045
	投資活動支出 計 (E)		27,045	20,000	7,045
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)		7,608	10,763	△ 3,155	
収支差額 (G)=(C)+(F)		1,671	5,524	△ 3,853	
予備費支出 (H)		100	100	0	
当期収支差額 (I)=(G)-(H)		1,571	5,424	△ 3,853	
前期繰越収支差額 (J)		△ 5,077	△ 5,424	347	
次期繰越収支差額 (K)=(I)+(J)		△ 3,506	0	△ 3,506	

#### 4 令和3（2021）年度一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構事業計画の報告について

〔 自 令和3（2021）年4月 1日 〕  
〔 至 令和4（2022）年3月31日 〕

##### （1）事業計画

###### ア 水産・海洋に関する学術研究機関の集積に関わる事業

（定款第4条第1項第1号に掲げる事業）

函館市国際水産・海洋総合研究センター（以下「海洋研究センター」という。）の入居機関をはじめ、地域の学術研究機関や企業との産学官連携を促進することで、地域が抱える水産・海洋関連の様々な課題に対し、学術研究機関が有する知見を活かし解決を図るとともに、新たな学術研究機関や企業、学会などの誘致活動を通じて、関連機関の集積を促し、水産・海洋分野の研究開発拠点の構築を目指す。

また、包括連携協定を締結している国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）とは、引き続き学術研究の交流など連携強化に向けた取り組みを進める。

###### イ 地域と学術研究機関の連携に関わる事業

（定款第4条第1項第2号に掲げる事業）

学術研究機関や水産・海洋関連企業などに対し、共同・受託研究事業等の企画提案とその推進を図る。

また、各種競争的研究資金の獲得に向けた情報収集や情報提供に努めるとともに、地域の産業・経済界をはじめ学術研究機関や企業などを繋ぐコーディネート機能を活かし、事業管理機関として産学官連携による新分野における研究開発の発掘など地域の活性化に資する事業を促進する。

さらに、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ、地域と学術研究機関の連携により、主要水産物であるイカやコンブをはじめ、新たな水産物や未利用資源などにも着目し、地域の戦略的魚介藻類の持続可能な生産に関わる研究開発事業を支援する。

###### ウ 観光と学術研究機関の融合に関わる事業

（定款第4条第1項第3号に掲げる事業）

函館の代表的な水産物である「イカ」の生態から流通や加工、料理法などを熟知する「イカマイスター」を養成し認定することで、イカについての理解と消費を促進し、函館の水産業や観光業の活性化に繋げることを目的に「函館イカマイスター養成講習会および認定試験」を実施するとともに、新たな受講者の発掘に向け、事業内容の見直しと検討を行う。

また、「いか祭り」などの地域で行われるイベントにも積極的に協力・参加して、地域振興に貢献する。

#### エ 水産・海洋と市民生活の調和に関わる事業

(定款第4条第1項第4号に掲げる事業)

市民一人ひとりがもっと「海」を知り、「海」と親しみ、「海」と生活との関わりを深めることで、函館国際水産・海洋都市構想への関心を高めてもらうことを目的に、「海」をキーワードとした市民参加型イベントとして「函館マリンフェスティバル2021」を海洋研究センターを会場に開催する。

また、市民に函館の豊かな水産資源に関する学習機会を提供するための水産・海洋教育プログラムの実施や、カルチャーナイトなどへの参加を行うとともに、海洋研究センター入居機関による「研究成果報告会」などを開催するほか、大型実験水槽での実験の一般公開による研究紹介、エントランスホールの展示内容の充実を図るなど、入居機関のアウトリーチ活動を支援する。

#### オ 水産・海洋分野等に関わる調査・研究に関する事業

(定款第4条第1項第5号に掲げる事業)

近年、スルメイカ漁業の不振によりイカの原料不足が課題となっており、イカの生産・流通・加工業界では極めて厳しい状況下にあることから、引き続き「函館頭足類科学研究所」において、イカの生態や資源変動について調査・研究を行う。

また、ブリやクロマグロ、タラ類を含む漁業対象種については、環境の変化に応答する資源変動の解明と将来予測をはじめ、高鮮度付加価値化や有効利用に関する啓発活動を推進するなど、新たな産業の創出に向けた支援を行う。

なお、当機構が地域の学術研究機関や海洋研究センター入居機関と実施する受託研究・共同研究にも引き続き取り組む。

#### カ 広報に関わる事業

函館国際水産・海洋都市構想および海洋研究センターに関するパンフレットやニュースレターを発行するとともに、ホームページの管理運営やメールマガジンの配信について内容の充実を図るなど、きめ細かな情報の提供に努める。

#### キ 海洋研究センターの管理運営に関わる事業

海洋研究センターの指定管理者として、フォーラム機能（貸研究室業務や各種団体活動のための場所の提供）やシンクタンク機能（研究開発や技術開発の支援と知財の集積）、ハブ機能（入居学術研究機関と企業との産学連携の促進）の充実を図るなど、施設の効率かつ効果的な管理運営に努める。



また、海洋研究センターが供用開始されて8年目を迎えることから、施設・設備の継続的・安定的な稼働を維持するため、計画的な修繕に努める。

なお、新型コロナウイルス感染症に対しては、国等の対応指針などに基づく対策を講じ、安全・安心な施設の運営に努める。

## (2) 収支予算書

(単位:千円)

区分	科目		予算額	前年度予算額	増減
	大科目	中科目			
事業活動収入の支	基本財産運用収入		0	0	0
		基本財産利息収入	0	0	0
	事業収入		90,501	91,965	△ 1,464
		函館市受託事業収入	90,101	89,765	336
		研究受託収入	0	1,800	△ 1,800
		検定料収入	400	400	0
	補助金等収入		19,413	19,190	223
		国庫補助金収入	0	0	0
		地方公共団体補助金収入	18,713	18,990	△ 277
		民間助成金収入	200	200	0
		受託研究費収入	500	0	500
	雑収入		92	112	△ 20
		雑収入	92	112	△ 20
		受取利息収入	0	0	0
	事業活動収入計 (A)		110,006	111,267	△ 1,261
	事業費支出		2,710	2,764	△ 54
		観光と学術研究機関の融合事業費支出	599	600	△ 1
		水産・海洋と市民生活の調和事業費支出	1,618	1,648	△ 30
		広報に関わる事業費支出	493	516	△ 23
受託事業費等支出		90,801	91,765	△ 964	
	函館市受託事業費支出	90,301	89,965	336	
	研究受託支出	500	1,800	△ 1,300	

(単位:千円)

区分	科目		予算額	前年度予算額	増減
	大科目	中科目			
事業活動収支の部	管理費支出		16,495	16,738	△ 243
		管理費支出	16,495	16,738	△ 243
		その他支出	0	0	0
	事業活動支出計 (B)		110,006	111,267	△ 1,261
	事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)		0	0	0
	予備費支出 (D)		0	0	0
	当期収支差額 (E)=(C)-(D)		0	0	0
	前期繰越収支差額 (F)		0	0	0
	次期繰越収支差額 (G)=(E)+(F)		0	0	0